

教 育 要 項

医 学 部 看 護 学 科

令和 7 年度



浜 松 医 科 大 学

目 次

教育目的	2
教育目標	2
ディプロマ・ポリシー	2
看護学科コンピテンシー	3
カリキュラム・ポリシー	4
浜松医科大学医学部看護学科履修系統図	5
浜松医科大学医学部履修規程	9
浜松医科大学成績評価の質問・申立て等に関する申合せ	17
令和5年度以降入学者適用	21
令和4年度入学者適用	31
令和7年度看護学科授業科目の配当年次一覧	
令和5年度以降入学者適用	41
令和4年度入学者適用	47
浜松医科大学におけるG P 及びG P A の取扱いに関する申合せ	50
看護学科第3年次編入生の既修得単位等に関する申合せ	52
令和7年度看護学科編入生授業科目の配当年次一覧	56

〈教育目的〉

看護の実践・研究・教育分野において国内外で活躍できる人材を育成することにより、看護学の発展と人類の健康増進並びに福祉に貢献することを目的としています。

〈教育目標〉

生命の尊厳を尊重する倫理観、豊かな人間性、科学的探究心及び最新の知識に裏付けられた看護実践能力を持った社会に貢献できる看護専門職の育成を目指しています。

〈ディプロマ・ポリシー〉

医学部看護学科の教育課程において、以下の資質と能力を身につけ、学修目標に達したと認められる者に学士（看護学）の学位を授与します。

1. 専門知識と技能
看護学に関する基本的な知識と技能を身につけている。
2. 自律的学修能力と応用能力
最新の知識を習得する習慣を身につけている。
看護学における問題を抽出し、必要な情報を収集・分析して解決策を見出すことができる。
3. 豊かな人間性と高い倫理観
豊かな人間性、高い倫理観及びコミュニケーション能力を身につけ、対象となる人の立場や視点に立って看護を実践できる。
4. 科学的探究心
深い洞察力を身につけ、論理的思考ができる。
看護学に対する研究的視点と科学的探究心を持っている。
5. 社会貢献力
国際社会や地域社会に貢献するために必要な資質を身につけている。

〈看護学科コンピテンシー〉

ディプロマポリシー			コンピテンシー	
1	専門知識と技能	看護学に関する基本的な知識と技能を身につけている。	1	看護の対象となる人の特性に応じて信頼関係を形成できる
			2	多面的なアセスメントと対象者の経験や意向に沿ったニーズの把握ができる
			3	疫学、病態、予後などの知識に基いた基本的な臨床判断ができる
			4	対象者のニーズや臨床判断に基づく看護問題の抽出と看護計画の立案ができる
			5	看護介入に関する知識を身に付け、基本的なケアの実践ができる
			6	実践を評価し、基本的な看護記録を作成できる
			7	エビデンスに基づいた実践を志向できる
2	自律的学修能力と応用能力	最新の知識を習得する習慣を身につけている。	1	自主的に学習を進めることができる
		看護学における問題を抽出し、必要な情報を収集・分析して解決策を見出すことができる。	1	必要な課題を自ら抽出できる
			2	課題を解決するに当たり、情報の収集法を身につけている
			3	収集した情報を分析し、解決法を見いだせる
			4	医療安全の重要性について説明できる
3	豊かな人間性と高い倫理観	豊かな人間性、高い倫理観及びコミュニケーション能力を身につけ、対象となる人の立場や視点に立って看護を実践できる。	1	豊かな人間性に基づいた行動ができる
			2	高い倫理観に基づいた行動ができる
			3	看護倫理・臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を説明できる
			4	看護実践における倫理に関する理論や倫理原則、規範や思考方法を説明できる
			5	看護の対象となる人とコミュニケーションが取れる
			6	多職種連携の意義、体制を説明でき、チームの一員として参加できる
			7	看護学・医療の歴史的な流れとその意味を説明できる
			8	患者のプライバシーに配慮できる
			9	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる
4	科学的探究心	深い洞察力を身につけ、論理的思考ができる。	1	研究対象となる事象の背景を注意深く観察できる
			2	研究課題を自ら設定できる
			3	調べた情報を用いて解決策を論理的に見いだせる
		看護学に対する研究的視点と科学的探究心を持っている。	1	研究の基礎知識を身につけている
			2	研究の看護実践への応用を説明できる
			3	研究のプロセスを踏むことができる
5	社会貢献力	国際社会や地域社会に貢献するために必要な資質を身につけている。	1	地域包括ケアにおける看護職の役割、必要性を説明できる
			2	地域包括ケアの場で基本的な実践ができる
			3	多文化社会における医療者の役割について説明できる
			4	国際社会に貢献するための語学力を身につけている
			5	災害に対する保健医療を説明できる

〈カリキュラム・ポリシー〉

優れた看護の専門家を育成するために、医学部看護学科の教育目的・教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施し、学修成果を評価します。

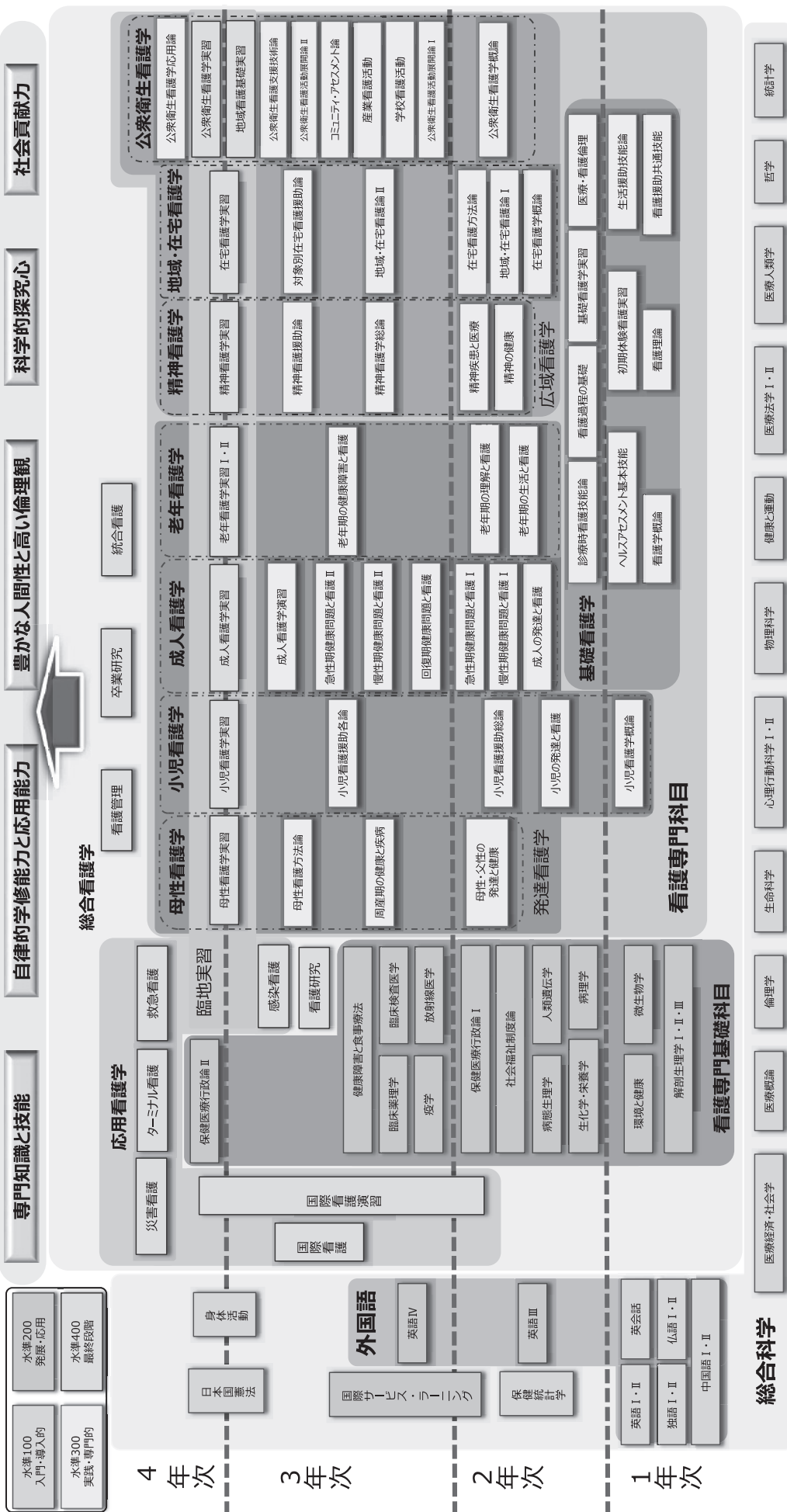
1. 教養教育、看護専門基礎教育、看護専門教育からなるカリキュラムを編成し、専門知識と技能の修得を可能にする。
2. 自律的学修能力と応用能力を養うために、情報リテラシー教育、問題解決型学習、臨地実習を通じて、問題発見能力と推論・解決能力の向上を図る。
3. 教養教育、医療・看護倫理教育、コミュニケーション学習、医療安全教育を通じて、豊かな人間性と高い倫理観を育む。
4. 総合科学教育、看護専門基礎教育、看護専門教育、及び看護研究を通じて、深い洞察力和科学的探究心を育成する。
5. 教養教育や看護専門教育を通じて、国際社会や地域社会に貢献するための看護実践能力を育む。

学修成果については、各科目のシラバス「成績評価」欄に記載されたとおり、責任教員が筆記試験やレポート、授業態度等で評価します。

浜松医科大学医学部看護学科 履修系統図

【令和4年度入学者適用】

ディプロマ・ポリシー



浜松医科大学医学部履修規程

○浜松医科大学医学部履修規程

(平成 16 年 4 月 8 日規程第 76 号)

改正 平成 17 年 3 月 10 日規程第 134 号 平成 17 年 3 月 10 日規程第 135 号
平成 18 年 3 月 10 日規程第 14 号 平成 19 年 2 月 8 日規程第 12 号
平成 20 年 3 月 13 日規程第 9 号 平成 21 年 2 月 5 日規程第 2 号
平成 22 年 1 月 14 日規程第 2 号 平成 23 年 3 月 8 日規程第 39 号
平成 24 年 1 月 12 日規程第 28 号 平成 25 年 1 月 10 日規程第 34 号
平成 26 年 3 月 13 日規程第 16 号 平成 27 年 2 月 12 日規程第 17 号
平成 27 年 7 月 23 日規程第 69 号 平成 28 年 1 月 14 日規程第 14 号
平成 29 年 10 月 19 日規程第 56 号 平成 30 年 9 月 20 日規程第 44 号
平成 31 年 1 月 17 日規程第 2 号 令和元年 12 月 12 日規程第 75 号
令和 2 年 12 月 10 日規程第 41 号 令和 3 年 5 月 20 日規程第 47 号
令和 4 年 1 月 20 日規程第 1 号 令和 4 年 12 月 15 日規程第 69 号
令和 5 年 9 月 21 日規程第 37 号 令和 6 年 1 月 18 日規程第 1 号
令和 7 年 1 月 16 日規程第 91 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、浜松医科大学学則(平成 16 年規則第 25 号。以下「学則」という。)

第 25 条、第 31 条及び第 67 条第 3 項の規定に基づき浜松医科大学医学部医学科及び看護学科における授業科目の種類、単位数、履修方法、成績評価の方法等について定めるものとする。

(授業科目及び履修方法)

第 2 条 履修すべき授業科目の種類及び単位数については、該当する学科の入学年度に対応する別表第 1 及び別表第 2 に定める。

2 別表第 1 及び別表第 2 について、教育上必要があると認めたときは、教授会に諮って学長がこれを変更することがある。

3 別表第 1 及び別表第 2 に基づき、学長は、教授会に諮って授業科目の配当年次等を別に定めるものとする。

(履修届)

第 3 条 学生は、授業科目を履修しようとするときは、所定の様式による履修届を記入の上、所定の期日までに学務課に提出しなければならない。

(各授業科目の授業期間)

第 4 条 各授業科目の授業は、15 週にわたる期間を単位とする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(授業方法等)

第5条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

第6条 授業の方法及び内容並びに1年間の授業計画は、教育要項において明示するものとする。

(単位の計算方法)

第7条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間以外に必要な学修を考慮して、次の基準によって単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間又は30時間で別表第3に定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間又は45時間で別表第3に定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 講義、演習、実験、実習及び実技を併用する場合については、別表第3に定める算式により算出した時間数が45時間である授業をもって1単位とする。

(試験)

第8条 試験は、定期試験、随時試験、追試験及び再試験とする。

- 2 定期試験は、授業の構成単位が終了する期末に、一定の期間を定めて行う。
- 3 随時試験は、授業科目の担当教員が必要と認めたときに適宜行う。
- 4 追試験は、病気、災害その他特別の事情で定期試験又は随時試験を、受験できなかった者に対して行うことがある。この場合にあつては、追試験を志望する者は、担当教員に願い出るものとする。
- 5 再試験は、定期試験又は追試験において成績不良であつた者に対して行うことがある。

(成績の評価方法等)

第9条 授業科目の成績は、試験、レポート及び学習意欲等により総合的に評価する。

- 2 授業科目の成績の評価は、シラバスの成績評価欄に記載された内容に基づき、秀、優、良、可又は不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格として単位の修得を認め、不可を不合格とする。ただし、2年以上の年次にわたって開設される授業科目で、その評価が履修の最後に総合評価されるものについては、その途中の各年次の評価に限り、合格又は不合格の評語をもって行うものとする。

- 3 前項に規定する評語と、その評点及び達成状況の対応関係は、次の表のとおりとする。

評語	評点 (100 点満点)	達成状況
秀	90 点以上	学修目標を十分達成したものと認められ、特に優秀な成績を示す
優	80 点以上 90 点未満	学修目標を達成したものと認められ、優れた成績を示す
良	70 点以上 80 点未満	学修目標の根幹的な部分を達成したものと認められ、妥当な成績を示す
可	60 点以上 70 点未満	学修目標の最低限は達成したものと認められる成績を示す
不可	60 点未満	学修目標の最低限を達成したとは認められない成績を示す

- 4 前項の規定にかかわらず、再試験を受験した者の当該授業科目の成績評価は、60 点を上限とする。
- 5 履修した授業科目には、評価に基づいて Grade Point (以下「GP」という。)を付す。
- 6 成績評価基準、成績評価方法、GP 及び Grade Point Average (以下「GPA」という。)等について必要な事項は別に定める。

(単位の認定)

第 10 条 単位の認定は、教授会に諮って学長がこれを行う。

(年次移行等基準及び卒業要件)

第 11 条 医学科の年次移行等基準は、次のとおりとする。

- (1) 第 2 年次への移行は、別表第 4 に定める単位を取得し、かつ、別表第 6 に定める課題等において別に定める進級要件を満たした者とする。移行できなかった者は、単位を修得できなかった授業科目を再履修するとともに、進級要件を満たすことができなかった課題等に再度取り組むものとする。
- (2) 第 3 年次への移行は、別表第 4 に定める単位を修得し、かつ、別表第 6 に定める課題等において別に定める進級要件を満たした者とする。移行できなかった者は、単位を修得できなかった授業科目を再履修するとともに、進級要件を満たすことができなかった課題等に再度取り組むものとする。
- (3) 第 4 年次への移行は、別表第 4 に定める単位を修得した者とする。移行できなかった者は、単位を修得できなかった授業科目を再履修するものとする。
- (4) 第 4 年次に開講する臨床実習を履修できる者は、臨床実習を開始する年度に実施される共用試験 (CBT、臨床実習前 OSCE) に合格した者とする。共用試験に合格できなかった者は、再受験するものとする。
- (5) 第 5 年次への移行は、前号に加え、別表第 4 に定める単位を修得した者とする。移行できなかった者は、単位を修得できなかった授業科目を再履修するものとする。

(6) 第6年次への移行は、別表第4に定める単位を修得した者とする。移行できなかった者は、単位を修得できなかった授業科目を再履修するものとする。

2 看護学科の年次移行基準は、次のとおりとする。

第2年次、第3年次及び第4年次への移行は、別表第5に定める単位を修得した者とする。移行できなかった者は、単位を修得できなかった授業科目を再履修するものとする。

3 前2項の規定により再履修又は再度取り組むこととなった学生は、所定の様式による再履修届等に記入の上、所定の期日までに学務課に提出しなければならない。

第12条 学則第33条に定める全課程の修了は、第2条に定める単位の修得をもって認定する。

2 医学科においては、平成28年度以降のカリキュラムを履修する者は、前項の規定に定めるほか、卒業試験及び臨床実習後OSCEに合格しなければならない。

第13条 年次移行基準及び卒業要件を満たさなかった者の取扱いについては、別に定める。

(不正行為)

第14条 第8条で定める試験において不正行為と認められる行為があったときは、当該学期の履修登録単位を全て無効とする。

(規程の改廃)

第15条 この規程の改廃は、教授会に諮って学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成16年4月8日から施行し、平成16年4月1日から適用する。ただし、別表2及び別表5については、平成15年度入学生から適用する。

2 平成14年度以前に看護学科に入学した者及び平成15年度以前に医学科に入学した者の授業科目及び履修方法等については、旧浜松医科大学医学部履修規程の定めるところによる。

附 則(平成17年3月10日規程第134号)

この規程は、平成17年3月10日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則(平成17年3月10日規程第135号)

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月10日規程第14号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年2月8日規程第12号)

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 3 月 13 日規程第 9 号)
この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 2 月 5 日規程第 2 号)
この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年 1 月 14 日規程第 2 号)
この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 23 年 3 月 8 日規程第 39 号)
この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

- 附 則(平成 24 年 1 月 12 日規程第 28 号)
- 1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
 - 2 平成 23 年度以前に入学した医学科の学生に対する規程第 2 条別表 1 及び同第 11 条別表 4 の適用については、別に定める。
 - 3 平成 23 年度以前に入学した看護学科の学生に対する規程第 2 条別表 2 及び同第 11 条別表 5 の適用は、なお従前のとおりとする。

- 附 則(平成 25 年 1 月 10 日規程第 34 号)
- 1 この規程は、平成 25 年 2 月 1 日から施行する。ただし、別表第 1、別表第 2、別表第 4 及び別表第 5 の改正規定は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
 - 2 平成 23 年度以前に入学した看護学科の学生に適用する別表第 2 及び別表第 5 については、改正後の規定にかかわらず、別に定める。

附 則(平成 26 年 3 月 13 日規程第 16 号)
この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 2 月 12 日規程第 17 号)
この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 7 月 23 日規程第 69 号)
この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

- 附 則(平成 28 年 1 月 14 日規程第 14 号)
- 1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 医学科において、平成 27 年度以前のカリキュラムを履修する者については、なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 10 月 19 日規程第 56 号)

- 1 この規程は、平成 29 年 10 月 19 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 医学科において、平成 27 年度以前のカリキュラムを履修する者については、なお従前の例による。

附 則(平成 30 年 9 月 20 日規程第 44 号)

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 看護学科において、平成 30 年度以前のカリキュラムを履修する者については、なお従前の例による。

附 則(平成 31 年 1 月 17 日規程第 2 号)

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 医学科において、平成 30 年度以前のカリキュラムを履修する者については、なお従前の例による。

附 則(令和元年 12 月 12 日規程第 75 号)

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 2 年 12 月 10 日規程第 41 号)

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 医学科において、令和 2 年度以前のカリキュラムを履修する者については、なお従前の例による。

附 則(令和 3 年 5 月 20 日規程第 47 号)

- 1 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 看護学科において、令和 3 年度以前のカリキュラムを履修する者については、なお従前の例による。

附 則(令和 4 年 1 月 20 日規程第 1 号)

- 1 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 医学科において、令和 3 年度以前のカリキュラムを履修する者に対する別表第 6 の適用は、なお従前の例による。

附 則(令和 4 年 12 月 15 日規程第 69 号)

- 1 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 医学科において、平成 27 年度以前のカリキュラムを履修する者に対する別表第 1 の適用は、なお従前の例による。
- 3 看護学科において、令和 4 年度以前のカリキュラムを履修する者については、別表第 5 の適用は、なお従前の例による。

附 則(令和 5 年 9 月 21 日規程第 37 号)

- 1 この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 医学科において、令和 2 年度以前のカリキュラムを履修する者に対する別表第 1 の適用は、なお従前の例による。

附 則(令和 6 年 1 月 18 日規程第 1 号)

- 1 この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 医学科において、令和 2 年度以前のカリキュラムを履修する者に対する別表第 1 及び別表第 4 の適用は、なお従前の例による。

附 則(令和 7 年 1 月 16 日規程第 91 号)

- 1 この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 医学科において、令和 4 年度以前のカリキュラムを履修する者に対する別表第 1 及び別表第 4 の適用は、なお従前の例による。

別表第 1(第 2 条関係)

[別紙参照]

別表第 2(第 2 条関係)

[別紙参照]

別表第 3(第 7 条関係)

[別紙参照]

別表第 4(第 11 条関係)

[別紙参照]

別表第 5(第 11 条関係)

[別紙参照]

別表第 6(第 11 条第 1 項(1)及び(2)関係)

[別紙参照]

別表3

(第7条(1)及び(2)関係)

1単位当たりの授業時間	
講義	15時間
演習	30時間
実験・実習・実技	45時間

(第7条(3)関係)

【講義、演習、実験、実習及び実技を併用する場合】

$$ax + by + cz = 45\text{時間}$$

この場合のa、b、c、x、y及びzは次のとおりとする。

a : 1単位の授業科目を構成する内容の学修に必要とされる時間数の45時間を第7条(1)に定める授業時間数で除して得た数値

b : 同じく45時間を同条(1)に定める授業時間数で除して得た数値

c : 同じく45時間を同条(2)に定める授業時間数で除して得た数値

x : 実際に行う講義の授業時間数

y : 実際に行う演習の授業時間数

z : 実際に行う実験、実習または実技の授業時間数

○浜松医科大学成績評価の質問・申立て等に関する申合せ

(平成 28 年 3 月 16 日申合せ第 15 号)

学生による成績評価に関する質問・申立て等について、次のとおり定める。

- 1 学生は、成績評価に質問がある場合、成績公表翌日より 1 週間以内に、「成績評価に関する質問書」(別紙様式 1) を速やかに教務係窓口で書面で提出する。
- 2 教務委員会委員長は、学生から提出された質問内容を検討し、授業担当教員に照会する。
- 3 授業担当教員は、照会された日から原則 1 週間以内に成績評価の理由・根拠を文書により回答する。
- 4 教務委員会委員長は、その回答を学生に通知する。
- 5 学生は、回答された評価理由に納得できない場合、「成績評価に関する申立て書」(別紙様式 2) に納得できない理由・根拠を記入して速やかに教務係に提出する。
- 6 教務委員会委員長は、「成績評価に関する申立て書」が提出された場合、申立て内容の正当性の有無を確認のうえ、学生および担当教員と個別に必要な対応を講じる。この内容について、教務委員会及び教授会に報告をする。
- 7 この申合せに基づき、成績の訂正の必要が生じた場合は、教務委員会、教授会の議を経て承認するものとする。ただし、移行に係る場合、教務委員会の議をもって次年次開講科目を受講できるものとする。
- 8 授業担当教員は、学生からの成績評価に関する質問等に対応できるよう、答案用紙及び学生から提出されたレポート、出席状況、臨床実習における口頭試問の結果等、成績評価にあたって使用したすべての資料を単位認定後 1 年間、保管しておくものとする。

附 則

この申合せは、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別紙様式 1(第 1 項関係)

成績評価に関する質問書

[別紙参照]

別紙様式 2(第 5 項関係)

成績評価に関する申立て書

[別紙参照]

令和 5 年度以降入学者適用

「看護学科」

授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
総合科学	医 療 概 論	3	必修	
	倫 理 学	2		
	生 命 科 学	2		
	心 理 行 動 科 学 I	2		
	物 理 科 学	1		
	※ 保 健 統 計 学	2		
	※ 健 康 と 運 動	1		
	医 療 経 済 ・ 社 会 学	2	6 選単位 択以上 必修を	
	心 理 行 動 科 学 II	2		
	医 療 法 学 I	2		
	医 療 人 類 学	2		
	医 療 法 学 II	2		
	哲 学	2		
	統 計 学	2		
	※ 日 本 国 憲 法	2	自由	
	※ 身 体 活 動	1		
	国際サービス・ラーニング	1		
外国語	※ 英 語 I	1	必修	
	※ 英 語 II	1		
	英 語 III	1		
	英 語 IV	1		
	英 会 話	1	自由	
	独 語 I	1		
	独 語 II	1		
	仏 語 I	1		
	仏 語 II	1		
	中 国 語 I	1		
	中 国 語 II	1		

※養護教諭二種免許状取得に必要な科目です。

養護教諭二種免許状の取得を希望する場合、必ず履修してください。

編入生は、「看護学科第3年次編入生の既修得単位等に関する申合せ」の別表イを参照してください。

「看護学科」

授 業 科 目		単 位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
看護専門基礎科目	解 剖 生 理 学 I	2	必修	
	解 剖 生 理 学 II	2		
	解 剖 生 理 学 III	2		
	生 化 学 ・ 栄 養 学	2		
	人 類 遺 伝 学	1		
	疫 学	1		
	環 境 と 健 康	1		
	微 生 物 学	2		
	病 理 学	3		
	放 射 線 医 学	1		
	臨 床 検 査 医 学	1		
	臨 床 薬 理 学	2		
	病 態 生 理 学	2		
	社 会 福 祉 制 度 論	1		
	保 健 医 療 行 政 論 I	1		
	保 健 医 療 行 政 論 II	1		
	健 康 障 害 と 食 事 療 法	1	自由	
基礎看護学	看 護 学 概 論	1.5	必修	
	看 護 理 論	0.5		
	看 護 援 助 共 通 技 能	0.5		
	ヘルスアセスメント基本技能	1.5		
	生 活 援 助 技 能 論	2		
	診 療 時 看 護 技 能 論	2		
	看 護 過 程 の 基 礎	2		
	医 療 ・ 看 護 倫 理	1		
	初 期 体 験 看 護 実 習	1		
	基 礎 看 護 学 実 習	2		

「看護学科」

授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
母性看護学	母性・父性の発達と健康	1	必修	
	周産期の健康と疾病	2		
	母性看護方法論	1		
	母性看護学実習	2		
小児看護学	小児看護学概論	1	必修	
	小児の発達と看護	1		
	小児看護援助総論	1		
	小児看護援助各論	1		
	小児看護学実習	2		
成人看護学	成人の発達と看護	1	必修	
	急性期健康問題と看護Ⅰ	1		
	急性期健康問題と看護Ⅱ	1		
	回復期健康問題と看護	1		
	慢性期健康問題と看護Ⅰ	1		
	慢性期健康問題と看護Ⅱ	1		
	成人看護学演習	1		
	成人看護学実習	6		
老年看護学	老年期の理解と看護	1	必修	
	老年期の生活と看護	1		
	老年期の健康障害と看護	2		
	老年看護学実習Ⅰ	1		
	老年看護学実習Ⅱ	3		
精神看護学	精神の健康	1	必修	
	精神疾患と医療	1		
	精神看護学総論	1		
	精神看護援助論	1		
	精神看護学実習	2		

「看護学科」

授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	必修	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2		
	産 業 看 護 活 動	2		
	学 校 看 護 活 動	1		
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1		
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	1		
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2		
	公衆衛生看護学応用論	1		
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1		
	公衆衛生看護学実習	3		
地域・在宅看護学	在 宅 看 護 学 概 論	1	必修	
	在 宅 看 護 方 法 論	1		
	地 域・在 宅 看 護 論 Ⅰ	1		
	地 域・在 宅 看 護 論 Ⅱ	1		
	対象別在宅看護援助論	2		
	在 宅 看 護 学 実 習	2		
応用看護学	感 染 看 護	1	必修	
	災 害 看 護	2	2単位以上を 選択必修	
	国 際 看 護	2		
	タ ー ミ ナ ル 看 護	1	1単位以上を 選択必修	
	救 急 看 護	1		
	国 際 看 護 演 習	1	自由	
総合看護学	看 護 研 究	1	必修	
	看 護 管 理	1		
	統 合 看 護	2		
	卒 業 研 究	2		
卒 業 に 必 要 な 単 位 数		137		

「看護学科2年次への移行基準」

2年次移行基準				
授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
総合科学	医 療 概 論	3	必修	
	倫 理 学	2		
	生 命 科 学	2		
	心 理 行 動 科 学 I	2		
	物 理 科 学	1		
	※ 健 康 と 運 動	1		
	医 療 経 済 ・ 社 会 学	2		
	心 理 行 動 科 学 II	2	6 単位 以上 を 選 択 必 修	
	医 療 法 学 I	2		
	医 療 人 類 学	2		
	医 療 法 学 II	2		
	哲 学	2		
	統 計 学	2		
外国語	英 語 I	1	必修	
	英 語 II	1		
看護専門基礎科目	解 剖 生 理 学 I	2	必修	
	解 剖 生 理 学 II	2		
	解 剖 生 理 学 III	2		
	環 境 と 健 康	1		
	微 生 物 学	2		
基礎看護学	看 護 学 概 論	1.5	必修	
	看 護 理 論	0.5		
	看 護 援 助 共 通 技 能	0.5		
	ヘルスアセスメント基本技能	1.5		
	生 活 援 助 技 能 論	2		
	初 期 体 験 看 護 実 習	1		
看護小児学	小 児 看 護 学 概 論	1	必修	
2年次に移行するために必要な単位数		38		

「看護学科3年次への移行基準」

3年次移行基準				
授 業 科 目		単 位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
科総合	保 健 統 計 学	2	必修	
外国語	英 語 III	1	必修	
看護専門基礎科目	生 化 学 ・ 栄 養 学	2	必修	
	人 類 遺 伝 学	1		
	病 理 学	3		
	放 射 線 医 学	1		
	臨 床 検 査 医 学	1		
	病 態 生 理 学	2		
	社 会 福 祉 制 度 論	1		
	保 健 医 療 行 政 論 I	1		
基礎看護学	診 療 時 看 護 技 能 論	2	必修	
	看 護 過 程 の 基 礎	2		
	医 療 ・ 看 護 倫 理	1		
	基 礎 看 護 学 実 習	2		
看護学母性	母 性 ・ 父 性 の 発 達 と 健 康	1	必修	
看護学小児	小 児 の 発 達 と 看 護	1	必修	
	小 児 看 護 援 助 総 論	1		
成人看護学	成 人 の 発 達 と 看 護	1	必修	
	急性期健康問題と看護 I	1		
	慢性期健康問題と看護 I	1		
看護学老年	老 年 期 の 理 解 と 看 護	1	必修	
	老 年 期 の 生 活 と 看 護	1		

「看護学科3年次への移行基準」

3年次移行基準				
授 業 科 目		単 位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
看護学 精神	精 神 の 健 康	1	必修	
	精 神 疾 患 と 医 療	1		
看護学 公衆衛生	公 衆 衛 生 看 護 学 概 論	2	必修	
地域・在宅 看護学	在 宅 看 護 学 概 論	1	必修	
	在 宅 看 護 方 法 論	1		
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 I	1		
看護学 応用	感 染 看 護	1	必修	
3年次に移行するために必要な単位数		38		

「看護学科4年次への移行基準」

4年次移行基準				
授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 の別	備 考
外国語	英 語 IV	1	必修	
看護基礎専門科目	疫 学	1	必修	
	臨 床 薬 理 学	2		
看護学 母性	周産期の健康と疾病	2	必修	
	母性看護方法論	1		
看護学 小児	小児看護援助各論	1	必修	
成人看護学	急性期健康問題と看護Ⅱ	1	必修	
	回復期健康問題と看護	1		
	慢性期健康問題と看護Ⅱ	1		
	成人看護学演習	1		
看護学 老年	老年期の健康障害と看護	2	必修	
看護学 精神	精神看護学総論	1	必修	
	精神看護援助論	1		
公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2	必修	
	産 業 看 護 活 動	2		
	学 校 看 護 活 動	1		
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1		
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	1		
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2		
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1		
地域・在宅 看護学	地域・在宅看護論Ⅱ	1	必修	
	対象別在宅看護援助論	2		
看護学 総合	看 護 研 究	1	必修	
4年次に移行するために必要な単位数		30		

令和 4 年度入学者適用

「看護学科」

授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
総合科学	医 療 概 論	3	必修	
	倫 理 学	2		
	生 命 科 学	2		
	心 理 行 動 科 学 I	2		
	物 理 科 学	1		
	※ 保 健 統 計 学	2		
	※ 健 康 と 運 動	1		
	医 療 経 済 ・ 社 会 学	2	6 選 単 択 位 必 以 修 上 を	
	心 理 行 動 科 学 II	2		
	医 療 法 学 I	2		
	医 療 人 類 学	2		
	医 療 法 学 II	2		
	哲 学	2		
	統 計 学	2		
	※ 日 本 国 憲 法	2	自由	
	※ 身 体 活 動	1		
	国際サービス・ラーニング	1		
外国語	※ 英 語 I	1	必修	
	※ 英 語 II	1		
	英 語 III	1		
	英 語 IV	1		
	英 会 話	1	自由	
	独 語 I	1		
	独 語 II	1		
	仏 語 I	1		
	仏 語 II	1		
	中 国 語 I	1		
	中 国 語 II	1		

※養護教諭二種免許状取得に必要な科目です。

養護教諭二種免許状の取得を希望する場合、必ず履修してください。

編入生は、「看護学科第3年次編入生の既修得単位等に関する申合せ」の別表イを参照してください。

「看護学科」

授 業 科 目		単 位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
看護専門基礎科目	解 剖 生 理 学 I	2	必修	
	解 剖 生 理 学 II	2		
	解 剖 生 理 学 III	2		
	生 化 学 ・ 栄 養 学	2		
	人 類 遺 伝 学	1		
	疫 学	1		
	環 境 と 健 康	1		
	微 生 物 学	2		
	病 理 学	3		
	放 射 線 医 学	1		
	臨 床 検 査 医 学	1		
	臨 床 薬 理 学	2		
	病 態 生 理 学	2		
	社 会 福 祉 制 度 論	1		
	保 健 医 療 行 政 論 I	1		
	保 健 医 療 行 政 論 II	1		
	健 康 障 害 と 食 事 療 法	1	自由	
基礎看護学	看 護 学 概 論	1.5	必修	
	看 護 理 論	0.5		
	看 護 援 助 共 通 技 能	0.5		
	ヘルスアセスメント基本技能	1.5		
	生 活 援 助 技 能 論	2		
	診 療 時 看 護 技 能 論	2		
	看 護 過 程 の 基 礎	2		
	医 療 ・ 看 護 倫 理	1		
	初 期 体 験 看 護 実 習	1		
	基 礎 看 護 学 実 習	2		

「看護学科」

授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
母性看護学	母性・父性の発達と健康	1	必修	
	周産期の健康と疾病	2		
	母性看護方法論	1		
	母性看護学実習	2		
小児看護学	小児看護学概論	1	必修	
	小児の発達と看護	1		
	小児看護援助総論	1		
	小児看護援助各論	1		
	小児看護学実習	2		
成人看護学	成人の発達と看護	1	必修	
	急性期健康問題と看護Ⅰ	1		
	急性期健康問題と看護Ⅱ	1		
	回復期健康問題と看護	1		
	慢性期健康問題と看護Ⅰ	1		
	慢性期健康問題と看護Ⅱ	1		
	成人看護学演習	1		
	成人看護学実習	6		
老年看護学	老年期の理解と看護	1	必修	
	老年期の生活と看護	1		
	老年期の健康障害と看護	2		
	老年看護学実習Ⅰ	1		
	老年看護学実習Ⅱ	3		
精神看護学	精神の健康	1	必修	
	精神疾患と医療	1		
	精神看護学総論	1		
	精神看護援助論	1		
	精神看護学実習	2		

「看護学科」

授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	必修	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2		
	産 業 看 護 活 動	2		
	学 校 看 護 活 動	1		
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1		
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	1		
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2		
	公衆衛生看護学応用論	1		
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1		
	公衆衛生看護学実習	3		
地域・在宅看護学	在 宅 看 護 学 概 論	1	必修	
	在 宅 看 護 方 法 論	1		
	地 域・在 宅 看 護 論 Ⅰ	1		
	地 域・在 宅 看 護 論 Ⅱ	1		
	対 象 別 在 宅 看 護 援 助 論	2		
	在 宅 看 護 学 実 習	2		
応用看護学	感 染 看 護	1	必修	
	災 害 看 護	2	2単位以上を 選択必修	
	国 際 看 護	2		
	タ ー ミ ナ ル 看 護	1	1単位以上を 選択必修	
	救 急 看 護	1		
	国 際 看 護 演 習	1	自由	
総合看護学	看 護 研 究	1	必修	
	看 護 管 理	1		
	統 合 看 護	2		
	卒 業 研 究	2		
卒 業 に 必 要 な 単 位 数		137		

「看護学科2年次への移行基準」

2年次移行基準				
授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
総合科学	医 療 概 論	3	必修	
	倫 理 学	2		
	生 命 科 学	2		
	心 理 行 動 科 学 I	2		
	物 理 科 学	1		
	※ 健 康 と 運 動	1		
	医 療 経 済 ・ 社 会 学	2		
	心 理 行 動 科 学 II	2	6 単 位 選 択 必 修 以 上 を	
	医 療 法 学 I	2		
	医 療 人 類 学	2		
	医 療 法 学 II	2		
	哲 学	2		
	統 計 学	2		
外国語	英 語 I	1	必修	
	英 語 II	1		
看護専門基礎科目	解 剖 生 理 学 I	2	必修	
	解 剖 生 理 学 II	2		
	解 剖 生 理 学 III	2		
	環 境 と 健 康	1		
	微 生 物 学	2		
基礎看護学	看 護 学 概 論	1.5	必修	
	看 護 理 論	0.5		
	看 護 援 助 共 通 技 能	0.5		
	ヘルスアセスメント基本技能	1.5		
	生 活 援 助 技 能 論	2		
	初 期 体 験 看 護 実 習	1		
看護学 小児学	小 児 看 護 学 概 論	1	必修	
2年次に移行するために必要な単位数		38		

「看護学科3年次への移行基準」

3年次移行基準				
授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考
科学総合	保 健 統 計 学	2	必修	
外国語	英 語 III	1	必修	
看護専門基礎科目	生 化 学 ・ 栄 養 学	2	必修	
	人 類 遺 伝 学	1		
	病 理 学	3		
	病 態 生 理 学	2		
	社 会 福 祉 制 度 論	1		
	保 健 医 療 行 政 論 I	1		
基礎看護学	診 療 時 看 護 技 能 論	2	必修	
	看 護 過 程 の 基 礎	2		
	医 療 ・ 看 護 倫 理	1		
	基 礎 看 護 学 実 習	2		
看護学母性	母 性 ・ 父 性 の 発 達 と 健 康	1	必修	
看護学小児	小 児 の 発 達 と 看 護	1	必修	
	小 児 看 護 援 助 総 論	1		
成人看護学	成 人 の 発 達 と 看 護	1	必修	
	急 性 期 健 康 問 題 と 看 護 I	1		
	慢 性 期 健 康 問 題 と 看 護 I	1		
看護学老年	老 年 期 の 理 解 と 看 護	1	必修	
	老 年 期 の 生 活 と 看 護	1		
看護学精神	精 神 の 健 康	1	必修	
	精 神 疾 患 と 医 療	1		
看護学公衆衛生	公 衆 衛 生 看 護 学 概 論	2	必修	
地域・在宅看護学	在 宅 看 護 学 概 論	1	必修	
	在 宅 看 護 方 法 論	1		
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 I	1		
3年次に移行するために必要な単位数		35		

「看護学科4年次への移行基準」

4年次移行基準					
授 業 科 目		単位	選択必修 必修 自由 } の別	備 考	
外国語	英 語 IV	1	必修		
看護専門基礎科目	疫 学	1	必修		
	放 射 線 医 学	1			
	臨 床 検 査 医 学	1			
	臨 床 薬 理 学	2			
看護学 母性	周 産 期 の 健 康 と 疾 病	2	必修		
	母 性 看 護 方 法 論	1			
看護学 小児	小 児 看 護 援 助 各 論	1	必修		
成人看護学	急性期健康問題と看護Ⅱ	1	必修		
	回復期健康問題と看護	1			
	慢性期健康問題と看護Ⅱ	1			
	成 人 看 護 学 演 習	1			
看護学 老年	老年期の健康障害と看護	2	必修		
看護学 精神	精 神 看 護 学 総 論	1	必修		
	精 神 看 護 援 助 論	1			
公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2	必修		
	産 業 看 護 活 動	2			
	学 校 看 護 活 動	1			
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1			
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	1			
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2			
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1			
看護学 地域・在宅	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 Ⅱ	1	必修		
	対 象 別 在 宅 看 護 援 助 論	2			
看護学 応用	感 染 看 護	1	必修		
看護学 総合	看 護 研 究	1	必修		
4年次に移行するために必要な単位数		33			

令和 7 年度看護学科授業科目の配当年次一覧

(令和 5 年度以降入学者適用)

令和7年度看護学科授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期								授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考	
				1年		2年		3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技
				前	後	前	後	前	後	前	後							
総合科学	医 療 概 論	3	五十嵐、大磯、永谷 他	○								○	○			必修	講義50% 演習50% (医学科:医学概論Ⅰ)	
	倫 理 学	2	長田		○							○						
	生 命 科 学	2	前田、黒野、アナン	○								○						
	心 理 行 動 科 学Ⅰ	2	田中	○								○						
	物 理 科 学	1	三浦、吉田	○								○						
	保 健 統 計 学	2	谷			○						○						
	健 康 と 運 動	1	酒井		○							○						
	医 療 経 済・社 会 学	2	谷口	○								○				6 単位 以上 を選 択 必 修		
	心 理 行 動 科 学Ⅱ	2	田中		○							○						
	医 療 法 学Ⅰ	2	大磯	○								○						
	医 療 人 類 学	2	辻内、鈴木(勝)、首藤	○								○						
	医 療 法 学Ⅱ	2	大磯		○							○						
	哲 学	2	長田	○								○						
	統 計 学	2	古屋		○							○						
日 本 国 憲 法	2	大磯					○		○		○				自由	令和7年度開講 以降隔年 (令和8年度は開講しない)		
身 体 活 動	1	早川、酒井					○		○		○			○		講義70% 実技30%		
国際サービス・ラーニング	1	ボイス			○		○				○		○			時間割の都合上、聴講のみとする		
外国語	英 語Ⅰ	1	中安	○								○				必修		
	英 語Ⅱ	1	ソーントン		○							○						
	英 語Ⅲ	1	小野澤			○						○						
	英 語Ⅳ	1	マクナブ					○				○						
	英 会 話	1	ソーントン	○								○				自由		
	独 語Ⅰ	1	トロースト	○								○						
	独 語Ⅱ	1	トロースト		○							○						
	仏 語Ⅰ	1	山崎	○								○						
	仏 語Ⅱ	1	山崎		○							○						
	中 国 語Ⅰ	1	王	○								○						
中 国 語Ⅱ	1	王		○							○							

※「保健統計学(必修)」、「健康と運動(必修)」、「日本国憲法(自由)」、「身体活動(自由)」、「英語Ⅰ(必修)」、「英語Ⅱ(必修)」

の6科目は、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合、必ず履修してください。

「日本国憲法」は隔年で開講されます。

※ 編入生は、「看護学科3年次編入生の既修得単位及び在学期間等に関する申合せ」の別表イを参照してください。

令和7年度看護学科授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期								授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考	
				1年		2年		3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技
				前	後	前	後	前	後	前	後							
看護専門基礎科目	解 剖 生 理 学Ⅰ	2	山下(寛)	○								○				必修		
	解 剖 生 理 学Ⅱ	2	山下(寛)	○								○						
	解 剖 生 理 学Ⅲ	2	山下(寛)、秋田		○							○						
	生 化 学・栄 養 学	2	永田、山下(寛)、内田			○						○						
	人 類 遺 伝 学	1	佐藤(直)、才津			○						○						
	疫 学	1	永田					○				○						
	環 境 と 健 康	1	永田		○							○						
	微 生 物 学	2	永田		○							○						
	病 理 学	3	秋田、岩下	他			○					○						
	放 射 線 医 学	1	中村(和)	他				○				○						
	臨 床 検 査 医 学	1	岩泉	他				○				○						
	臨 床 薬 理 学	2	山下(寛)、川上					○				○						
	病 態 生 理 学	2	秋田			○						○						
	社 会 福 祉 制 度 論	1	永田	他			○					○						
	保 健 医 療 行 政 論Ⅰ	1	永田、尾島	他				○				○						
	保 健 医 療 行 政 論Ⅱ	1	永田、渡井、尾島	他							○	○						
健康障害と食事療法	1	影山(葉)						○			○				自由			
基礎看護学	看 護 学 概 論	1.5	永谷	他	○							○				必修	講義20% 演習80%	
	看 護 理 論	0.5	永谷	他	○							○						
	看 護 援 助 共 通 技 能	0.5	永谷、青木	他	○							○	○					
	ヘルスアセスメント 基 本 技 能	1.5	永谷、青木、秋田	他		○						○	○					
	生 活 援 助 技 能 論	2	永谷	他		○						○	○					
	診 療 時 看 護 技 能 論	2	村松	他				○				○	○					
	看 護 過 程 の 基 礎	2	永谷	他			○					○					講義33% 演習67%	
	医 療 ・ 看 護 倫 理	1	村松、長田	他				○				○						
	初 期 体 験 看 護 実 習	1	永谷、青木	他	○										○			
	基 礎 看 護 学 実 習	2	村松	他				○							○			
母性看護学	母 性 ・ 父 性 の 康 発 達 と 健 康	1	安田			○						○				必修		
	周産期の健康と疾病	2	安田	他				○				○						
	母 性 看 護 方 法 論	1	安田、木村	他						○			○					
	母 性 看 護 学 実 習	2	安田、木村	他						○					○			
小児看護学	小 児 看 護 学 概 論	1	坪見、宮城島			○						○				必修		
	小 児 の 発 達 と 看 護	1	坪見、宮城島				○					○						
	小 児 看 護 援 助 総 論	1	坪見、宮城島					○					○					
	小 児 看 護 援 助 各 論	1	坪見、宮城島					○					○					
	小 児 看 護 学 実 習	2	坪見、宮城島	他							○				○			
成人看護学	成 人 の 発 達 と 看 護	1	佐藤(直)				○					○				必修		
	急 性 期 健 康 問 題 とⅠ 看 護	1	脇坂				○						○					
	急 性 期 健 康 問 題 とⅡ 看 護	1	脇坂					○					○					
	回 復 期 健 康 問 題 と 看 護	1	影山(葉)、杉山、河島	他				○					○					
	慢 性 期 健 康 問 題 とⅠ 看 護	1	佐藤(直)				○						○					
	慢 性 期 健 康 問 題 とⅡ 看 護	1	佐藤(直)					○					○					
	成 人 看 護 学 演 習	1	影山(葉)、杉山、河島							○			○					
	成 人 看 護 学 実 習	6	佐藤(直)、脇坂、影山(葉) 他							○					○			

令和7年度看護学科授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期								授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考	
				1年		2年		3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技
				前	後	前	後	前	後	前	後							
老年看護学	老 年 期 の 理 解 と 看 護	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤				○					○					必修	
	老 年 期 の 生 活 と 看 護	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤				○					○						
	老 年 期 の 健 康 障 害 と 看 看	2	予定教員、牧野、 稲垣、野澤					○				○						
	老 年 看 護 学 実 習 I	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤						○						○			
	老 年 看 護 学 実 習 II	3	予定教員、牧野、 稲垣、野澤							○					○			
精神看護学	精 神 の 健 康	1	木戸			○						○					必修	
	精 神 疾 患 と 医 療	1	木戸				○					○						
	精 神 看 護 学 総 論	1	木戸					○				○						
	精 神 看 護 援 助 論	1	木戸						○			○						
	精 神 看 護 学 実 習	2	木戸	他							○					○		
公衆衛生看護学	公 衆 衛 生 看 護 学 概 論	2	渡井、山本	他			○					○					必修	
	公 衆 衛 生 看 護 活 動 展 開 論 I	2	山本	他					○			○						
	産 業 看 護 活 動	2	渡井	他					○			○						
	学 校 看 護 活 動	1	山本						○			○						
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1	山本	他					○			○						
	公 衆 衛 生 看 護 活 動 展 開 論 II	1	渡井	他						○		○						
	公 衆 衛 生 看 護 支 援 技 術 論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2	山本	他						○		○						
	公 衆 衛 生 看 護 学 応 用	1	渡井、山本									○	○					
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1	渡井、山本	他						○						○		
公 衆 衛 生 看 護 学 実 習	3	渡井、山本	他							○					○			
地域・在宅看護学	在 宅 看 護 学 概 論	1	鳥本	他				○				○					必修	
	在 宅 看 護 方 法 論	1	鳥本	他				○				○						
	地 域・在 宅 看 護 論 I	1	鳥本					○				○						
	地 域・在 宅 看 護 論 II	1	鳥本	他					○			○						
	対 象 別 在 宅 看 護 援 助 論	2	鳥本	他					○			○						
	在 宅 看 護 学 実 習	2	鳥本	他							○					○		
応用看護学	感 染 看 護	1	脇坂				○					○					必修 上2 単位 選択 以	
	災 害 看 護	2	佐藤(直)	他								○	○					
	国 際 看 護	2	佐藤(直)	他							○		○				上1 単位 選択 以	
	タ ー ミ ナ ル 看 護	1	佐藤(直)									○	○					
	救 急 看 護	1	脇坂									○	○				自由	
	国 際 看 護 演 習	1	木戸				○			○		○						
総合看護学	看 護 研 究	1	看護学科教員							○			○				必修	
	看 護 管 理	1	佐藤(直)									○	○					
	統 合 看 護	2	看護学科教員									○				○		
	卒 業 研 究	2	看護学科教員									○	○					

令和 7 年度看護学科授業科目の配当年次一覧

(令和 4 年度入学者適用)

令和7年度看護学科授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期								授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考	
				1年		2年		3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技
				前	後	前	後	前	後	前	後							
総合科学	医 療 概 論	3	五十嵐、大磯、永谷 他	○									○	○			必修	講義50% 演習50% (医学科:医学概論Ⅰ)
	倫 理 学	2	長田		○								○					6単位以上を 選択必修
	生 命 科 学	2	前田、黒野、アナン	○									○					
	心 理 行 動 科 学Ⅰ	2	田中	○									○					
	物 理 科 学	1	三浦、吉田	○									○					
	保 健 統 計 学	2	谷			○							○					
	健 康 と 運 動	1	酒井		○								○					
	医 療 経 済・社 会 学	2	谷口	○									○					
	心 理 行 動 科 学Ⅱ	2	田中		○								○					
	医 療 法 学Ⅰ	2	大磯	○									○					
	医 療 人 類 学	2	辻内、鈴木(勝)、首藤	○									○					
	医 療 法 学Ⅱ	2	大磯		○								○					
	哲 学	2	長田	○									○					
	統 計 学	2	古屋		○								○					
	日 本 国 憲 法	2	大磯					○		○			○				自由	令和7年度開講 以降隔年 (令和8年度は開講しない)
	身 体 活 動	1	早川、酒井					○		○			○			○		講義70% 実技30%
	国際サービス・ラーニング	1	ボイス			○		○					○			○		時間割の都合上、聴講のみとする
外国語	英 語Ⅰ	1	中安	○									○				必修	
	英 語Ⅱ	1	ゾートン		○								○					
	英 語Ⅲ	1	小野澤			○							○					
	英 語Ⅳ	1	マクナブ					○					○					
	英 会 話	1	ゾートン	○									○				自由	
	独 語Ⅰ	1	トロースト	○									○					
	独 語Ⅱ	1	トロースト		○								○					
	仏 語Ⅰ	1	山崎	○									○					
	仏 語Ⅱ	1	山崎		○								○					
	中 国 語Ⅰ	1	王	○									○					
中 国 語Ⅱ	1	王		○								○						

※「保健統計学(必修)」、「健康と運動(必修)」、「日本国憲法(自由)」、「身体活動(自由)」、「英語Ⅰ(必修)」、「英語Ⅱ(必修)」

の6科目は、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合、必ず履修してください。

「日本国憲法」は隔年で開講されます。

※ 編入生は、「看護学科3年次編入生の既修得単位及び在学期間等に関する申合せ」の別表イを参照してください。

令和7年度看護学科授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期								授業の形態					選択必修 必修 自由 の別	備 考
				1年		2年		3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習	実 技		
				前	後	前	後	前	後	前	後							
看護専門基礎科目	解 剖 生 理 学Ⅰ	2	山下(寛)	○								○					必修	
	解 剖 生 理 学Ⅱ	2	山下(寛)	○								○						
	解 剖 生 理 学Ⅲ	2	山下(寛)、秋田		○							○						
	生 化 学・栄 養 学	2	永田、山下(寛)、内田			○						○						
	人 類 遺 伝 学	1	佐藤(直)、才津			○						○						
	疫 学	1	永田					○				○						
	環 境 と 健 康	1	永田		○							○						
	微 生 物 学	2	永田		○							○						
	病 理 学	3	秋田、岩下	他			○					○						
	放 射 線 医 学	1	中村(和)	他					○			○						
	臨 床 検 査 医 学	1	岩泉	他						○		○						
	臨 床 薬 理 学	2	山下(寛)、川上					○				○						
	病 態 生 理 学	2	秋田			○						○						
	社 会 福 祉 制 度 論	1	永田	他			○					○						
	保 健 医 療 行 政 論Ⅰ	1	永田、尾島	他				○				○						
	保 健 医 療 行 政 論Ⅱ	1	永田、渡井、尾島	他								○	○					
	健康障害と食事療法	1	影山(葉)							○			○				自由	
基礎看護学	看 護 学 概 論	1.5	永谷	他	○							○					必修	講義20% 演習80%
	看 護 理 論	0.5	永谷	他	○							○						
	看 護 援 助 共 通 技 能	0.5	永谷、青木	他	○							○	○					
	ヘルスアセスメント 基 本 技 能	1.5	永谷、青木、秋田	他		○						○	○					
	生 活 援 助 技 能 論	2	永谷	他		○						○	○					
	診 療 時 看 護 技 能 論	2	村松	他			○					○	○					講義20% 演習80%
	看 護 過 程 の 基 礎	2	永谷	他			○					○						講義33% 演習67%
	医 療 ・ 看 護 倫 理	1	村松、長田	他				○				○						
	初 期 体 験 看 護 実 習	1	永谷、青木	他	○										○			
	基 礎 看 護 学 実 習	2	村松	他				○							○			
母性看護学	母 性 ・ 父 性 の 健康 発 達 と	1	安田			○						○					必修	
	周産期の健康と疾病	2	安田	他					○			○						
	母 性 看 護 方 法 論	1	安田、木村	他						○			○					
	母 性 看 護 学 実 習	2	安田、木村	他						○					○			
小児看護学	小 児 看 護 学 概 論	1	坪見、宮城島			○						○					必修	
	小 児 の 発 達 と 看 護	1	坪見、宮城島				○					○						
	小 児 看 護 援 助 総 論	1	坪見、宮城島					○					○					
	小 児 看 護 援 助 各 論	1	坪見、宮城島						○				○					
	小 児 看 護 学 実 習	2	坪見、宮城島	他							○				○			
成人看護学	成 人 の 発 達 と 看 護	1	佐藤(直)			○						○					必修	
	急性期健康問題と看護Ⅰ	1	脇坂				○						○					
	急性期健康問題と看護Ⅱ	1	脇坂					○					○					
	回復期健康問題と看護	1	影山(葉)、杉山、河島	他					○				○					
	慢性期健康問題と看護Ⅰ	1	佐藤(直)				○						○					
	慢性期健康問題と看護Ⅱ	1	佐藤(直)					○					○					
	成 人 看 護 学 演 習	1	影山(葉)、杉山、河島							○			○					
	成 人 看 護 学 実 習	6	佐藤(直)、脇坂、影山(葉)	他							○				○			

令和7年度看護学科授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期								授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考	
				1年		2年		3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技
				前	後	前	後	前	後	前	後							
老年看護学	老 年 期 の 理 解 と 看 護	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤				○					○				必修		
	老 年 期 の 生 活 と 看 護	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤				○					○						
	老 年 期 の 健 康 障 害 と 看 護	2	予定教員、牧野、 稲垣、野澤					○				○						
	老 年 看 護 学 実 習 I	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤						○					○				
	老 年 看 護 学 実 習 II	3	予定教員、牧野、 稲垣、野澤						○					○				
精神看護学	精 神 の 健 康	1	木戸			○						○				必修		
	精 神 疾 患 と 医 療	1	木戸				○					○						
	精 神 看 護 学 総 論	1	木戸					○				○						
	精 神 看 護 援 助 論	1	木戸						○			○						
	精 神 看 護 学 実 習	2	木戸 他						○					○				
公衆衛生看護学	公 衆 衛 生 看 護 学 概 論	2	渡井、山本 他			○						○				必修		
	公 衆 衛 生 看 護 活 動 開 展 論 I	2	山本 他					○				○						
	産 業 看 護 活 動	2	渡井 他					○				○						
	学 校 看 護 活 動	1	山本					○				○						
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1	山本 他					○				○						
	公 衆 衛 生 看 護 活 動 開 展 論 II	1	渡井 他						○			○						
	公 衆 衛 生 看 護 支 援 技 術 論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2	山本 他						○			○						
	公 衆 衛 生 看 護 学 応 用 論	1	渡井、山本								○	○						
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1	渡井、山本 他						○					○				
公 衆 衛 生 看 護 学 実 習	3	渡井、山本 他							○				○					
地域・在宅看護学	在 宅 看 護 学 概 論	1	鳥本 他				○					○				必修		
	在 宅 看 護 方 法 論	1	鳥本 他				○					○						
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 I	1	鳥本				○					○						
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 II	1	鳥本 他					○				○						
	対 象 別 在 宅 看 護 援 助 論	2	鳥本 他					○				○						
	在 宅 看 護 学 実 習	2	鳥本 他						○					○				
応用看護学	感 染 看 護	1	脇坂					○				○				必修	上2 必修単位 選択以	
	災 害 看 護	2	佐藤(直)								○	○	○					
	国 際 看 護	2	佐藤(直)						○			○	○					
	タ ー ミ ナ ル 看 護	1	佐藤(直)								○	○						
	救 急 看 護	1	脇坂								○	○						
	国 際 看 護 演 習	1	木戸				○		○		○					自由		
総合看護学	看 護 研 究	1	看護学科教員						○			○				必修		
	看 護 管 理	1	佐藤(直)								○	○						
	統 合 看 護	2	看護学科教員							○				○				
	卒 業 研 究	2	看護学科教員								○	○						

○浜松医科大学におけるG P及びG P Aの取扱いに関する申合せ

(平成 28 年 2 月 4 日申合せ第 3 号)

改正 令和 3 年 2 月 15 日申合せ第 1 号 令和 3 年 6 月 21 日申合せ第 9 号

(目的)

第 1 条 この申合せは、浜松医科大学医学部履修規程（平成 1 6 年規程第 7 6 号）第 9 条第 6 項に基づき、G P 及び G P A について必要な事項を定めるものとする。

(成績評価別 G P)

第 2 条 成績評価別の G P は次のとおりとする。

成績評価 (和文)	成績評価 (英文)	GP (評点)
秀	S	4
優	A	3
良	B	2
可	C	1
不可	D	0

(G P A の種類と算出方法)

第 3 条 G P A は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての G P A（以下「学期 G P A」という。）、当該学年における学修の状況及び成果を示す指標としての G P A（以下「学年 G P A」という。）並びに在学中における全期間の学習の状況及び成果を示す指標としての G P A（以下「累計 G P A」という。）の 3 種類とする。

2 学期 G P A、学年 G P A 及び累計 G P A の算出方法は、次に掲げるとおりとする。なお、算出した数値の小数点第 3 位以下は切り捨てるものとする。

(1) 学期 G P A

(当該学期の秀の単位数×4＋優の単位数×3＋良の単位数×2＋可の単位数×1＋不可の単位数×0)

当該学期の総履修登録単位数

(2) 学年 G P A

(当該学年の秀の単位数×4＋優の単位数×3＋良の単位数×2＋可の単位数×1＋不可の単位数×0)

当該学年の総履修登録単位数

(3) 累計 G P A

(全期間の秀の単位数×4＋優の単位数×3＋良の単位数×2＋可の単位数×1＋不可の単位数×0)

全期間の総履修登録単位数

(G P A 対象除外の授業科目)

第 4 条 次に掲げる授業科目については、学期 G P A、学年 G P A 及び累計 G P A の対象授業科目から除くものとする。

- (1) 入学前の既修得単位等の認定に関する規程により認定した授業科目
 - (2) 他の大学等において修得した単位等の認定に関する規程により認定した授業科目
 - (3) 合格又は不合格の評語をもって評価を行う授業科目
 - (4) 自由科目
- (再履修した授業科目の取扱い)

第5条 不可と評価された授業科目で再履修により単位を修得した授業科目については、当該科目について過去に得た不可の評価及び単位数も履修登録単位数に加算するものとする。

(履修取消し)

第6条 定められた期間に履修登録を取り消すことができる。履修を取り消した科目はGPAには算入しない。

- 2 履修登録後に当該学期の休学の申し出があった場合は、原則として履修中の授業科目は履修を取り消すものとする。

(成績の開示)

第7条 各学期の成績、学期GPA及び累計GPAは、ポータルサイトの学生カルテにて開示する。

附 則

- 1 この申合せは、平成28年4月1日から施行する。ただし、医学科にあつては、平成28年度の編入学生、看護学科にあつては、平成29年度までの編入学生を除く。
- 2 平成27年度以前のカリキュラムを履修する者については、なお従前の例による。

附 則(令和3年2月15日申合せ第1号)

この申合せは、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和3年6月21日申合せ第9号)

この申合せは、令和3年6月21日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

○浜松医科大学看護学科第3年次編入生の既修得単位等に関する申合せ

(平成28年3月15日申合せ第14号)

改正 平成30年3月12日申合せ第3号 平成30年10月4日申合せ第9号

令和2年3月11日申合せ第3号 令和3年6月7日申合せ第8号

(趣旨)

第1条 この申合せは、浜松医科大学学則（平成16年規則第25号）第22条の規定に基づき、看護学科第3年次編入学生（以下「編入学生」という。）の既修得単位等について必要な事項を定める。

(既修得単位の認定)

第2条 入学前の短期大学等において修得した単位は、別表アに定める単位を本学において修得したものとして認定する。

第3条 前条により認定された授業科目の単位は、「認定」の評語をもって表すものとする。

(授業科目及び履修方法)

第4条 編入学生は、別表イの授業科目を履修し、第2条により認定された単位と合わせて卒業要件として定められた単位を修得しなければならない。

(次年次移行基準)

第5条 編入学生の第4年次への移行は、別表ウにより定める単位を修得した者とする。

(卒業要件)

第6条 編入学生の卒業要件は、編入学した学年次の入学年度によるものとする。

附 則

この申合せは、平成28年4月1日から施行する。なお、平成25年度以前入学者については、別表ア及び別表イは従前の申合せを適用する。

附 則(平成30年3月12日申合せ第3号)

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成30年10月4日申合せ第9号)

この申合せは、平成31年4月1日から施行する。なお、平成30年度以前のカリキュラムを履修するものについては、別表イ及び別表ウは従前の申合せを適用する。

附 則(令和2年3月11日申合せ第3号)

この申合せは、令和2年3月11日から施行する。

附 則(令和3年6月7日申合せ第8号)

この申合せは、令和4年4月1日から施行する。なお、令和3年度以前のカリキュラムを履修するものについては、別表ア、別表イ及び別表ウは従前の申合せを適用する。

別表(第4条関係)

[別紙参照]

別表ア

授業科目の区分	単位数
総合科学	9単位
外国語	3単位
看護専門基礎科目	18単位
基礎看護学	外国語
母性看護学	6単位
小児看護学	6単位
成人看護学	13単位
老年看護学	7単位
精神看護学	5単位
地域・在宅看護学	6単位
合 計	86単位

別表イ

授業科目		単位	選択必修・必修・自由の別
総合科学	医療概論	3	必修
	※保健統計学	2	
	※健康と運動	1	
	医療経済社会学	2	4単位以上を 選択必修を
	倫理学	2	
	心理行動科学Ⅰ	2	
	生命科学	2	
	医療法学Ⅰ	2	
	統計学	2	自由
	※日本国憲法	2	
	※身体活動	1	
外国語	※英語Ⅳ	1	必修
	※英会話	1	自由
看護専門基礎科目	疫学	1	必修
	環境と健康	1	
	社会福祉制度論	1	
	保健医療行政論Ⅰ	1	
	保健医療行政論Ⅱ	1	
	解剖生理学Ⅰ	2	2単位以上を 選択必修を
	解剖生理学Ⅱ	2	
	解剖生理学Ⅲ	2	
	人類遺伝学	1	
	微生物学	2	
	病理学	3	
	放射線医学	1	
	臨床検査医学	1	
基礎看護学	医療・看護倫理	1	必修
老年看護学	老年期の理解と看護	1	必修
精神看護学	精神の健康	1	必修
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	必修
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2	
	産業看護活動	2	
	学校看護活動	1	
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援Ⅰ)	1	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	1	
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援Ⅱ)	2	
	公衆衛生看護学応用論	1	
	地域看護基礎実習	1	
地域・在宅看護学	公衆衛生看護学実習	3	必修
	地域・在宅看護論Ⅰ	1	
応用看護学	地域・在宅看護論Ⅱ	1	必修
	感染症看護	1	
	災害看護	2	
	国際看護	2	上2単位を 選択必修を
	タミナル看護	1	
	救急看護	1	上1単位を 選択必修を
総合看護学	国際看護演習	1	
	看護研究	1	必修
	看護管理	1	
	卒業研究	2	
	※※統合看護	2	
卒業に必要な単位数		51	

※養護教諭二種免許状取得に必要な科目です。
養護教諭二種免許状の取得を希望する場合、必ず履修してください。
※※老年看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、地域・在宅看護学
を必ず選択してください。

別表ウ

授業科目		単位	選択必修・必修・自由の別
総合科学	医療概論	3	必修
	※健康と運動	1	
	医療経済社会学	2	
外国語	※英語	IV 1	
看護基礎科目専門	環境と健康	1	
	社会福祉制度論	1	
	保健医療行政論 I	1	
基礎看護学	医療・看護倫理	1	
老年看護学	老年期の理解と看護	1	
精神看護学	精神の健康	1	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	
	公衆衛生看護活動展開論 I	2	
	産業看護活動	2	
	学校看護活動	1	
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1	
	公衆衛生看護活動展開論 II	1	
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2	
	地域看護基礎実習	1	
看護学 地域・在宅・ 看護学	地域・在宅看護論 I	1	
	地域・在宅看護論 II	1	
応用看護学	感染看護	1	
総合看護学	看護研究	1	
4年次移行基準		29	

令和7年度看護学科編入生授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期				授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考		
				3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技	
				前	後	前	後								
総合科学	医 療 概 論	3	五十嵐、大磯、永谷	他	○				○	○			必修	講義50% 演習50% (医学科・医学概論Ⅰ)	
	※ 保 健 統 計 学	2	谷				○		○						
	※ 健 康 と 運 動	1	酒井			○			○						
	医 療 経 済 ・ 社 会 学	2	谷口		○				○						
	倫 理 学	2	長田						○				4単位以上を 選択必修	実習と重複するため履修不可	
	心 理 行 動 科 学 Ⅰ	2	田中		○		○		○						
	生 命 科 学	2	前田、黒野、アナン		○				○						
	医 療 法 学 Ⅰ	2	大磯			○			○						
	統 計 学	2	古屋			○			○						
	※ 日 本 国 憲 法	2	大磯		○		○		○				自由	令和7年度開講 以降隔年 (令和8年度は開講しない)	
	※ 身 体 活 動	1	早川、酒井		○		○		○			○		講義70% 実技30%	
外国語	※ 英 語 Ⅳ	1	マクナブ		○					○			必修		
	※ 英 会 話	1	ソーントン		○		○			○			自由		
看護専門基礎科目	疫 学	1	永田				○		○				必修	2単位以上を 選択必修	
	環 境 と 健 康	1	永田			○			○						
	社 会 福 祉 制 度 論	1	永田	他	○				○						
	保 健 医 療 行 政 論 Ⅰ	1	永田、尾島	他		○			○						
	保 健 医 療 行 政 論 Ⅱ	1	永田、渡井、尾島	他				○	○						
	解 剖 生 理 学 Ⅰ	2	山下(寛)		○				○						
	解 剖 生 理 学 Ⅱ	2	山下(寛)		○				○						
	解 剖 生 理 学 Ⅲ	2	山下(寛)、秋田			○			○						
	人 類 遺 伝 学	1	佐藤(直)、才津				○		○						
	微 生 物 学	2	永田			○			○						
	病 理 学	3	秋田、岩下	他		○				○					
	放 射 線 医 学	1	中村(和)	他			○			○					
	臨 床 検 査 医 学	1	岩泉	他			○			○					
看護学基礎	医 療 ・ 看 護 倫 理	1	村松、長田	他			○			○			必修		
看護学老年	老 年 期 の 理 解 と 看 護	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤				○			○			必修		
看護学精神	精 神 の 健 康	1	木戸		○					○			必修		
公衆衛生看護学	公 衆 衛 生 看 護 学 概 論	2	渡井、山本	他	○					○			必修		
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2	山本	他	○					○					
	産 業 看 護 活 動	2	渡井	他	○					○					
	学 校 看 護 活 動	1	山本		○					○					
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援Ⅰ)	1	山本	他	○					○					
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	1	渡井	他			○			○					
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援Ⅱ)	2	山本	他			○			○					
	公衆衛生看護学応用論	1	渡井、山本						○	○					
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1	渡井、山本	他			○					○			
	公 衆 衛 生 看 護 学 実 習	3	渡井、山本	他			○					○			
地域看護学在宅	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 Ⅰ	1	鳥本			○				○			必修		
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 Ⅱ	1	鳥本	他	○					○					

※養護教諭二種免許状取得に必要な科目です。
養護教諭二種免許状の取得を希望する場合、必ず履修してください。

令和7年度看護学科編入生授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期				授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考		
				3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技	
				前	後	前	後								
応用看護学	感 染 看 護	1	脇坂	○				○					必修		
	災 害 看 護	2	佐藤(直) 他					○	○	○			上2 必を単 修選位 択以		
	国 際 看 護	2	佐藤(直) 他		○				○	○					
	タ ー ミ ナ ル 看 護	1	佐藤(直)					○	○				上1 必を単 修選位 択以		
	救 急 看 護	1	脇坂					○	○						
	国 際 看 護 演 習	1	木戸		○		○			○			自由		
総合看護学	看 護 研 究	1	看護学科教員		○			○					必修		
	看 護 管 理	1	佐藤(直)					○	○						
	卒 業 研 究	2	看護学科教員						○	○					
	※ ※ 統 合 看 護	2	看護学科教員			○					○				

※※老年看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、地域・在宅看護学を必ず選択してください。

令和7年度看護学科編入生授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期				授 業 の 形 態				選 択 必 修 必 修 自 由 の 別	備 考
				3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 技		
				前	後	前	後						
総合科学	医 療 概 論	3	五十嵐、大磯、永谷 他	○				○	○			必修	講義50% 演習50% (医学科・医学概論Ⅰ)
	※ 保 健 統 計 学	2	谷			○		○					
	※ 健 康 と 運 動	1	酒井		○			○					
	医 療 経 済 ・ 社 会 学	2	谷口	○				○					
	倫 理 学	2	長田					○				4 単 位 以 上 を 選 択 必 修	実習と重複するため履修不可
	心 理 行 動 科 学 Ⅰ	2	田中	○		○		○					
	生 命 科 学	2	前田、黒野、アナン	○				○					
	医 療 法 学 Ⅰ	2	大磯			○		○					
	統 計 学	2	古屋		○			○					
	※ 日 本 国 憲 法	2	大磯	○		○		○				自由	令和7年度開講 以降隔年 (令和8年度は開講しない)
	※ 身 体 活 動	1	早川、酒井	○		○		○			○		講義70% 実技30%
外国語	※ 英 語 Ⅳ	1	マクナブ	○					○			必修 自由	
	※ 英 会 話	1	ソーントン	○		○			○				
看護専門基礎科目	疫 学	1	永田			○		○				必修	
	環 境 と 健 康	1	永田		○			○					
	社 会 福 祉 制 度 論	1	永田 他	○				○					
	保 健 医 療 行 政 論 Ⅰ	1	永田、尾島 他		○			○					
	保 健 医 療 行 政 論 Ⅱ	1	永田、渡井、尾島 他				○	○				2 単 位 以 上 を 選 択 必 修	
	解 剖 生 理 学 Ⅰ	2	山下(寛)	○				○					
	解 剖 生 理 学 Ⅱ	2	山下(寛)	○				○					
	解 剖 生 理 学 Ⅲ	2	山下(寛)、秋田		○			○					
	人 類 遺 伝 学	1	佐藤(直)、才津			○		○					
	微 生 物 学	2	永田		○			○					
	病 理 学	3	秋田、岩下 他	○				○					
	放 射 線 医 学	1	中村(和) 他	○				○					
	臨 床 検 査 医 学	1	岩泉 他	○				○					
看護基礎学	医 療 ・ 看 護 倫 理	1	村松、長田 他		○			○				必修	
看護老年学	老年期の理解と看護	1	予定教員、牧野、 稲垣、野澤		○			○				必修	
看護精神学	精 神 の 健 康	1	木戸	○				○				必修	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	渡井、山本 他	○				○				必修	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2	山本 他	○				○					
	産 業 看 護 活 動	2	渡井 他	○				○					
	学 校 看 護 活 動	1	山本	○				○					
	コミュニティ・アセスメント論 (個人・家族・集団・組織の支援1)	1	山本 他	○				○					
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	1	渡井 他		○			○					
	公衆衛生看護支援技術論 (個人・家族・集団・組織の支援2)	2	山本 他		○			○					
	公衆衛生看護学応用論	1	渡井、山本				○	○					
	地 域 看 護 基 礎 実 習	1	渡井、山本 他		○						○		
	公衆衛生看護学実習	3	渡井、山本 他			○					○		
地域看護学・在宅	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 Ⅰ	1	鳥本		○			○				必修	
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 Ⅱ	1	鳥本 他	○				○					

※養護教諭二種免許状取得に必要な科目です。
養護教諭二種免許状の取得を希望する場合、必ず履修してください。

令和7年度看護学科編入生授業科目の配当年次一覧

授 業 科 目		単 位	担 当 教 員	開 講 時 期				授業の形態				選択必修 必修 自由 の別	備 考	
				3年		4年		講 義	演 習	実 験	実 習			実 技
				前	後	前	後							
応用看護学	感 染 看 護	1	脇坂	○				○					必修	
	災 害 看 護	2	佐藤(直) 他				○	○	○				上2 必を単 修選位 択以	
	国 際 看 護	2	佐藤(直) 他		○			○	○					
	タ ー ミ ナ ル 看 護	1	佐藤(直)				○	○					上1 必を単 修選位 択以	
	救 急 看 護	1	脇坂				○	○						
	国 際 看 護 演 習	1	木戸		○		○		○				自由	
総合看護学	看 護 研 究	1	看護学科教員		○			○					必修	
	看 護 管 理	1	佐藤(直)				○	○						
	卒 業 研 究	2	看護学科教員				○		○					
	※ ※ 統 合 看 護	2	看護学科教員			○					○			

※※老年看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、地域・在宅看護学を必ず選択してください。

